

面接試験を受けるみんなへ

いよいよ総合型選抜の出願が本格的にはじまり、受験シーズンがスタートしました。ここから国立前期入試まではあっという間です。総合型・学校推薦型で受験するみなさんに面接のアドバイスをしようと思います。まず大前提として、面接はコミュニケーションであることを忘れてはいけません。普段のコミュニケーションですべて「台本」ができていない状態はありませんよね。面接も同じです。台本を作ることよりもまず、相手の話をしっかりと聞き、応答することが重要です。自分の中にあるものを整理し、言葉にすることができればコミュニケーションは成立します。面接練習をしていると、借り物の言葉で話す人がよくいます。そんな言葉は相手には伝わりません。自分の思いを相手に伝えるには、自分の内側から出てくる言葉が必要です。いま一度、自分の志望理由などを整理し、自分の言葉を探すことから始めましょう。〔金子祐太〕

9月・10月のおもなスケジュール		
9/28	土	中3入試突破ゼミ・中間直前ゼミ
29	日	自習室開室 (10:00~18:00)
10/3	木	新クラス発表
5	土	中3保護者会 (13:00~14:30) 中3入試突破ゼミ・中間直前ゼミ
6	日	英語検定1次試験 自習室開室 (10:00~18:00)
12	土	中3入試突破ゼミ・数学検定
13	日	自習室開室 (12:00~18:00)
14	月	スポーツの日【授業あり】 新クラス授業スタート
19	土	中1・中2保護者会
20	日	中3公開テスト【会場受験】 第4回公開テスト(小4~中2) 自習室開室 (12:00~18:00)
21	月	小学生英語学習ハロウィンイベント
26	土	中3入試突破ゼミ・高3保護者会
27	日	自習室開室 (12:00~18:00)
29~11/4		秋期休講期間【休室】

知性的とはなにか

2016年東大前期入試の国語で非常におもしろい素材文が使われていました。内田樹さんの『反知性主義者たちの肖像』からの引用です。知識が豊富な人が一般的に「知性的」とであるとされていますが、文中で筆者はこれを否定します。そして、知性的かどうかはその人がいることによって彼の属する集団の知的生産性が高まった場合に事後的に承認される、と述べます。世の中には一見すると「無駄」に思われる人材や事物が存在します。しかし、それらもひょっとするとそこに「いる(ある)」ことで全体のパフォーマンスを上げているのではないかと。そんな考え方を与えてもらった文章でした。新たな知見を得られるのも国語のおもしろさです。〔金子祐太〕



9月8日、高等学校進学相談会を17校〔国立1・公立4・私立12〕の先生方を招いて初開催。参加者は300名超で、ほぼ全校のブースが埋まって大盛況となりました。

8月の“自習王”決定!

- ★中学生の部
中3 下村 紗英 166.7 時間
- ★高校生の部
高3 市川 隼輔 203.6 時間

きっかけ

ふと中学2年生の頃を思い出していました。不真面目を具現化したようなクラスでした。私自身も周りの空気に流され、授業中にプロ野球選手の似顔絵を描き、担任に見せてはよく叱られました。しかし秋の合唱コンクールで優秀賞を獲り、ばらばらだったクラスが何故か団結。授業中でもまとまって話を聞くようになりました。きっかけ一つで集団は変われるということ、その時に学びました。〔安本 千咲〕

10月分 学費の振替

9月27日(金)
毎月の口座振替は27日(金融機関休業日の場合は翌日)となっております。受講変更等ございましたら、毎月10日までにご連絡をいただけますよう、ご協力をお願いいたします

「イテテの法則」

おかしな名前ですが、みなさん「イテテの法則」ってご存知ですか? 誰かに、「前屈をしてほしい」とお願いして、例えば地面から10cmまでしか体が曲がらなかったとします。その時に、「あと5cm曲げて」と頼んでもたぶん無理ですが、「1cmだけ」と言ったら、何とか曲げられるのではと思います。ただ限界を超えているので、その人は「イテテ」と顔をしかめながら前屈をしましょう。ところが、この「イテテ」を毎日続けていると、いつの間にか痛みがなくなり、前より体が柔らかくなっている…というお話。

生きてるとイヤなことや辛いこともたくさんあります。何もかも投げ出したいくなって、「会社を辞めたい」とか「部活をやめたい」とか「塾をやめたい」といったネガティブな衝動に駆られる。これが「イテテ」の瞬間です。でも、そこで挫折してしまうか、気を取り直してがんばるかでその人の将来が大きく変わる。人生においての成功や失敗は生まれ持った才能とかではなく、こんないくつかのハードルを乗り越えようとする強い意志があるかないかで決まってくるものと私は考えています。

「イテテ」と感じた時はあなたが成長できる瞬間。泣きたい、叫びたい、逃げ出したいなどと思ったら、一旦深呼吸して、「今の私は成長している!」とポジティブに考えると、気持ちが楽になりますよ。(^^) [北村昌弘]



代表北村の独り言

特進館学院では、たとえ夜でもあいさつはいつも元気に「こんにちは!」。特進館生の特別ルールです。

編集 後記

今月末に三田市議会議員選挙が行われます。今年18歳になり選挙権を得た我が子は初の投票に行くことになります。ご近所さんが立候補されることもあり、先日は候補者との意見交換会に参加していました。政治にまったく興味をもてない人もいますが、選挙を身近に感じる機会があったことは、子どもの関心を高める意味でもよかったのかなと思っています。これから選挙活動が活発になるなか、他の候補者の声をどんな風に受け止めるのか、関心を持ち続けることができるのか…投票日まで見守りたいと思います。